

平成 29 年 新年賀詞交歓会開催報告



平成 29 年 1 月 17 日（火）12 時 30 分から、霞が関ビル 35 階東海大学校友会館「阿蘇の間」において、国会議員、国土交通省、友好団体等から多数の来賓の方々をお迎えして、新年賀詞交歓会を開催いたしました。

冒頭、会長挨拶に先立ち、根本幸典氏（国土交通大臣政務官）からご祝辞をいただいた後、熊倉隆治会長から挨拶が行われ、引き続き、神戸富吉氏（本会顧問・日本不動産鑑定士政治連盟会長）の音頭により乾杯が行われました。

また、乾杯の後、ご出席の国会議員からご挨拶をいただき、なごやかな歓談のうち、盛会裡に賀詞交歓会を終えることができました。

熊倉会長は、挨拶の中で「平成 29 年度予算において、地価公示地点を 2 万 6,000 地点が決定し、不動産鑑定士制度推進議員連盟の議員をはじめ、関係省庁の皆さまに御礼申し上げたい。不動産市場の制度インフラである地価公示にしっかり取り組み、社会の期待に応えていきたい。」「連合会としては、不動産鑑定評価制度の認知度向上や不動産鑑定業の拡大を図り、不動産鑑定評価制度の充実を図っていきたい。」「昨年 3 月に、鑑定評価制度創設時に鑑定評価の対象から除かれた農地を鑑定法の対象にすることや、不動産と動産の集合物への的確な鑑定ができる制度改正を要望し、併せて、不動産鑑定業務に従事する不動産鑑定士等のコンプライアンスの



挨拶を述べる熊倉会長



来賓祝辞を述べる根本国土交通大臣政務官

充実と連合会や士協会の団体としての位置付けの明確化等、制度整備による信頼向上施策をお願いしているが、企業活動のグローバル化やストック経済の進展といった社会経済情勢の変化、多様化するニーズに対応できる鑑定法の改正を実現しなければならないと考えている。」「昨年9月22年ぶりに第28回汎太平洋不動産鑑定士・カウンセラー会議を京都にて催したが、この会議では、アセアン諸国等でも不動産鑑定評価が確立されつつあり、我が国へ協力を求めていることが確認できた。国際交流を引き続き行い、協力していくことは我々の使命だと考えている。」等と述べました。



乾杯の音頭を取る
神戸日本不動産鑑定士政治連盟会長



中締めを行う玉那覇副会長



ご来場いただいた国会議員の方々（順不同）



豊田 俊郎 内閣府大臣政務官



左藤 章 衆議院議員



中西 健治 参議院議員



西村 明宏 衆議院議員



片山 さつき 参議院議員



中山 泰秀 衆議院議員



中川 雅治 参議院議員